

一般社団法人 埼玉県バスケットボール協会

SAITAMA BASKETBALL

U15カテゴリー一部会

2026年度事業説明会

3月11日(水)



登録について



1 登録について

登録については、[TeamJBA \(team-jba.jp\)](https://team-jba.jp)にアクセスし、手続きを行ってください。登録の手続きの方法等については、トップページ右上にある「サポート」から確認してください。

2 登録料について

ア チーム加盟料：**10000円(2026年度から変更)**

(JBA…5000円 SBA…5000円 計 10000円)

イ 競技者登録料：**2000円(2026年度から変更)**

(JBA…1000円 SBA…1000円 計 2000円)

※ただし、別途システム手数料がかかる場合がございます。

3 登録期限

令和 8年 5月31日(年度内登録は、対応しております。)

4 注意点

TeamJBAの新システム移行により、これまでに登録をしていた実績があるチームも、新規登録のチームも都道府県協会の承認が必要となりました。そのため、申請後に、SBAの承認を経て、入金作業を行っていただくこととなります。承認には時間がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※チーム区分(U15・中学校、U15・クラブ、U15・Bクラブ) を正しく登録してください。

※チーム責任者の変更 (中学校であれば人事異動等) の場合は、U15カテゴリ一部会公式ライン (<https://lin.ee/CgPJoXP>) にご連絡ください。カテゴリ一部会で対応をいたします。

今年度の登録の開始は
4月8日(水)となります。
システムの都合上、申請作業を行うことができますが、開始前に申請がでた場合は機械的に承認却下しますので、あらかじめご了承ください。

○ 移籍関係

1 移籍について

移籍については、<http://www.japanbasketball.jp/registration/documents> にある「U15 カテゴリー登録運用細則/移籍運用細則」および「U15 カテゴリー移籍手続きガイドをご確認の上各自でご対応お願いします。[\[JBA\]U15カテゴリー登録運用細則／U15カテゴリー移籍運用細則](#)（2025年3月14日）

2 移籍に関する注意事項

- ・ U15カテゴリーの選手は中学生以下であり、移籍は保護者の承諾を得た上で進めてください。
- ・ 移籍の決定は埼玉県協会にあり、チームで決定できるものではありません。
- ・ 手続き完了まで時間がかかる場合があるので、計画的に実行してください。
- ・ 一家転居を伴わない場合のチーム区分「部活動」同士の移籍は認められません。
- ・ 移籍時期によっては、各種大会に参加できない場合があります。

移籍については、規則および方法が決められております。正しく、ゆとりをもって申請をしていただきますようご協力お願いします。

・2025年度登録している1・2年生の内、2026年度に登録する2・3年が8割を超えている場合は、実績を引き継ぐものとする。

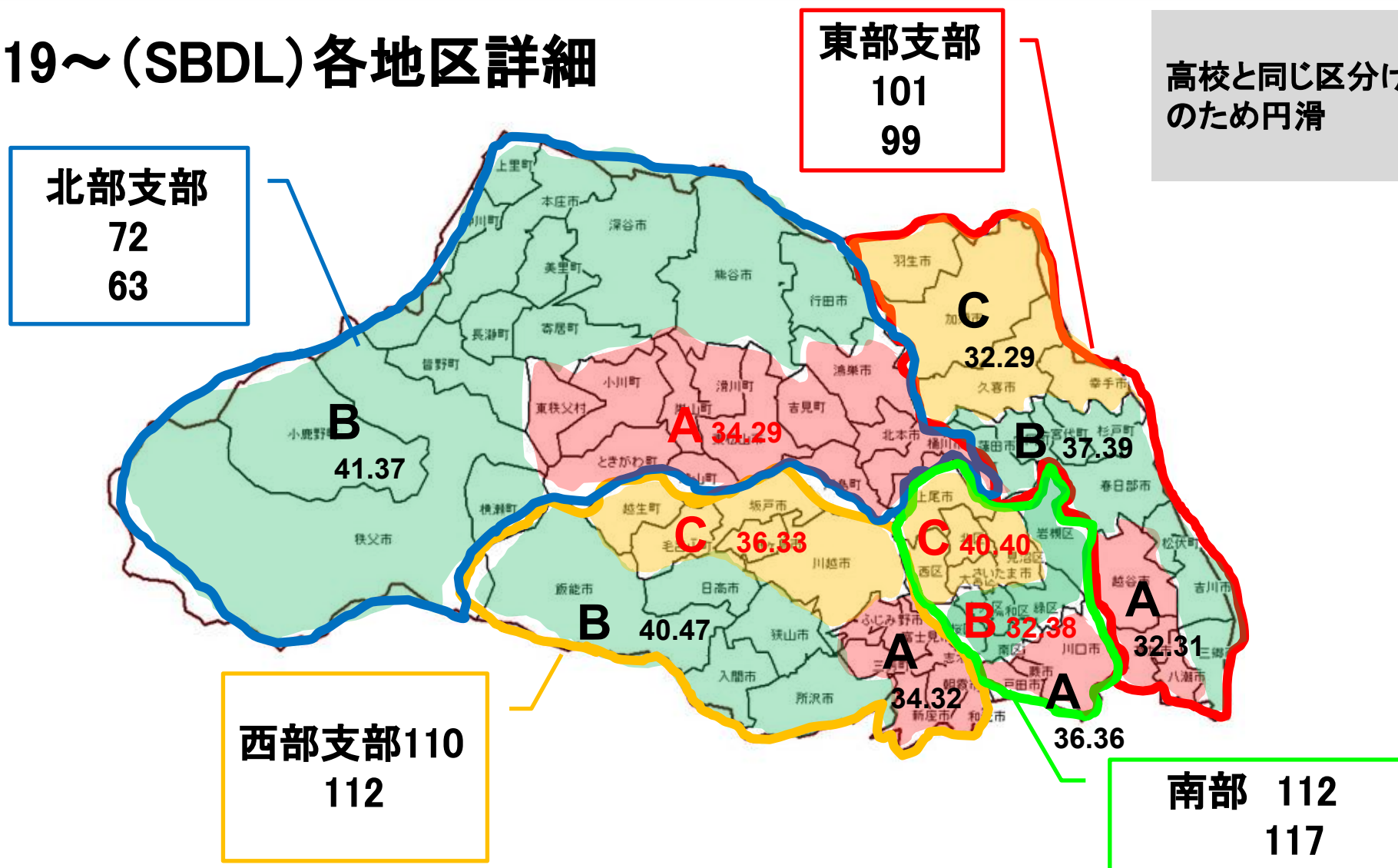
該当するチーム責任者様は、公式ラインにご連絡をください。

・学校総合体育大会後に移籍予定がある選手は、年度当初にグーグルフォームにて集約いたします。

SBDL地域区分の見直し (SBAとしての統一)

2019～(SBDL)各地区詳細

高校と同じ区分けのため円滑



競技会運営事業部

・春季大会(クラブカップ)

3部以下は、各支部トーナメントから

1・2部所属のチームは、県大会から参加

・U15選手権 (SBDLに参加する事で参加権利をもつ)

1部所属チームは、2次ラウンドから参加

SBDL U14リーグ参加チームは、1次ラウンドから参加

・参加費

チーム参加費と個人参加費を徴収します。

・エントリー

スタッフ6名以内(HC・AC・チーム責任者・MG・トレーナー・ドクター等)

+選手15名の計21名以内

※移籍等で同一大会(U15予選一次ラウンド、最終ラウンド、他の都道府県)に出場できません。

埼□県U15バスケットボール春季 □会(クラブカップ支部大会)

※U14リーグ3部以下(支部リーグ含める)のクラブチームが参加

上位チームが県大会進出

注意 エントリー:4月14日まで

※U14リーグの県1・2部所属のチームシード
扱い(入替戦の結果を反映させる。)

2026 SBDLU14リー
グ1部の8チーム。

2026 SBDLU14リー
グ2部の16チーム。

埼□県U15バスケットボール春季 □会
(クラブカップ県大会)

6月28日7月4、12日

注意 5月31日までに登録している選手が出場できる

重要

- ・5月31日までに登録した選手が出場できる
- ・移籍した選手は、8月31日まで(中学3年生の部活登録した選手が移籍可)

2026年度 第5回埼玉県U15バスケットボール選手権大会 兼
第6回全国U15バスケットボール選手権大会埼玉県予選一次ラウンド
実施10月3、10、12、31日 上位8チームが2次ラウンドへ
参加チーム：SBDL U14 参加チーム
中体連チーム最大4チーム(棄権を認める)



2026年度 第7回埼玉県U15バスケットボール選手権大会 兼 第7回全国U15バスケットボール選手権大会埼玉県予選二次ラウンド
実施 11月3日 決勝 15日
参加チーム：16チーム(1部8チーム+8)

原則：次のラウンドへの出場が決定した場合は、棄権を認めません

トーナメント戦実施の流れ(変更有)

○teamJBAにて大会ごとにエントリーをする。

選手15名 + スタッフ4名 (HC1・AC4) + MG (大人可) + トレーナー (有資格者)

teamJBAで登録したチーム、選手が出場することができます。

※移籍等で同一大会(U15予選一次ラウンド、最終ラウンド、他の都道府県)に出場できません。発覚した場合、出場停止等の罰則があります。ご注意ください。

全国U15選手権大会は、15名登録になります。

予選会も合わせるよう JBAから指示がありました。



○代表者会議 【役割の発表(・競技・審判・マンツーマン・会場)】

※U15選手権第1・2次ラウンドの審判は、埼玉県協会から派遣します

→teamJBAより対戦表についてメール配信



○トーナメント戦の実施

(スタッフは、自チームの勝敗に関係なく、大会終了まで運営のご協力をお願いします)



○全日程終了後【結果の報告】

次のラウンドに進む場合は、エントリー期間内に teamJBAで必ず大会参加エントリーを
すること

トーナメントの文化の 育成年代へのデメリットの改善



①リーグ化により選手として経験の場の増加

補欠文化からの脱却→普及・育成

②リーグ化によりチームとして拮抗した試合数の増加

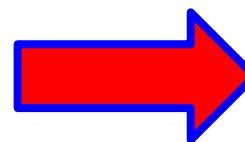
適正競技レベルでの経験値増加→育成

※スカウティング文化醸成(スタッツの導入)

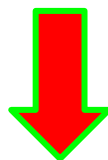
登録したすべての選手に経験の場を与える こと。

チームとして拮抗した試合を増やす こと。

teamJBAにてチームエントリーの際に希望を確認します



希望リーグに空きがある場合は希望で編成
(新規でも◎)



空きがない場合

事務局で編成

【長期的な育成を目指す】

【拮抗したゲームを増やす】

【DNPをなくす】

・前回リーグの結果を反映させる
(昇降あり。入替戦は、U14のみ)

・過去のリーグ戦への出場回数

・teamJBAの登録年数を反映

※インテグリティ等を配慮する

※新規チームは、長期的な参加を目指してもらうため 県4部から(地区3部)

上位リーグから編成する。
6～8チーム編成

※地区リーグは5チーム以下の
場合、地区割超える場合があります

・実施日

予備日も日程調整をすること

・編成

県リーグ：1部～4部まで(新規参加は原則4部)

※ユニットBは、1・2部には、所属できません。

地区リーグ：東西南北それぞれ1部～3部まで

・参加費

チーム参加費と個人参加費を徴収します。

(1) リーショナルリーグの成績

- A. 表彰をもって完結し、その後の競技会に直接的に影響を与えることはない
- B. ただし、チームが上位リーグへの所属を希望した場合、当該チームの成績は、編成の参考資料とする

(2) プリフェクチャーリーグの成績

- A. 2026 U15Autumn round (2026年8月開催) の成績は、2027 U14Winter round (2027年1月開催) 所属リーグ編成の参考資料となる
- B. 2027 U14Winter round (2027年1月開催) の成績、および**入れ替え戦の成績**は、2027 U15Autumn round (2027年8月開催) 所属リーグ編成の参考資料となる

・エントリーの方法(**teamJBAで登録したチーム、選手が出場可**)

開催2ヶ月前チームをteam JBAでエントリーする。

開催1ヶ月前に選手をteam JBAでエントリーする。

▼team JBAにてプログラムデータを提出&個人参加費提出

プログラムデータと同じ選手(番号)をエントリーする。(**変更追加なし**)

・ **1ユニットについて7名以上** の選手を登録する。

・スタッフ6名以内

(HC・AC・チーム責任者・MG・トレーナー・ドクター等)

・ U12の選手は、1つのチームで2名の登録になります。

※ユニットごとではありません。

◎ 原則実施日

- 原則実施日は、要項に記載されている「マッチデー」とする
- **SBDLに関しては、第1～7節までの大会実施日を全県で統一。日程調整・会場提供よろしくお願ひします。**
- 女子(AM)男子(PM)での開催予定
- 2026年度は、予備日を設ける(感染症対応のため)

◎ 日程の基本的な構成

- 基本的な構成は、「4チーム半日のスケジュールモデル」

[4チーム半日のスケジュールモデル]

時間	対戦	T.O	審判
8:30	開場・準備		
9:30	A — B	C	C D
11:00	C — D	A	A B
12:30	会場片付け・撤収		

《実施の上での注意事項》

- **ヘッドコーチは、ライセンス証を提示して試合前のスコアシートにサインすること。(電子不可)**
- 試合のチームとT.O・審判のチームを必ず分けてください。試合をしながら審判をするのは、大会の主旨と異なります。
- 連続で試合を実施する場合、コンディションを考慮して試合間を **1時間30分以上**とすること。その場合のみ実施を認める。
- **審判は基本的に帯同。チーム内でライセンスを所持している人に必ずチーム帯同させてください。(要項:大会参加条件)**
- **※謝礼については、一般社団法人埼玉県バスケットボール協会の規定通り支払う:日当1500円+交通費(往復の電車賃)**
- **※各チームで審判員の育成をお願いします。**

- ・1回戦総当たり制のリーグ戦
- ・1リーグあたり、最大8チーム～最小6チームの編成で行う。
- ・試合については、日本バスケットボール協会のルールブックに則って実施、勝敗をつけていく。(勝点制)

勝ち・不戦勝...2点 負け...1点 未実施...0点 (* 計画していない場合)
不戦勝の扱い→(計画したが実施できなかった場合。当日キャンセル等)
* 引き分けはありません。3分間の延長戦を行い、必ず勝敗をつけてください。

- ・全ての試合が終了した後、順位を決定する。

* 2チームの順位が並んだ場合、該当チーム間の勝敗で勝ったチームを上
の順位とする。

* 3チーム以上の順位が並んだ場合、該当チーム間だけの試合の得失点→総得点
の順で順位を決定する。

**毎節の結果をHPのスプレッドシートに入力することで各リーグの状況が確認可能。
埼玉県協会アプリにて結果確認できます。** [App Storeで埼玉県バスケットボール協会 公式アプリ](#)

・会場確保

SBDLは、各チーム会場取得をお願いしています。開催2ヶ月前あたりに参加プールを発表します。プールで協力して確保をお願いします。

※U15の試合として会場の確保をお願いします(3Pライン・リング高さ・ペイント等)

参加チームは駐車場等のアナウンスを守ってください。

・運営方法

帯同審判、MC、競技役員等大会役員のご協力をお願いします。

※審判をする際は、レフリースラックスを着用してください。

・TO

各大会に参加する際は、TO基礎講習修了者 チーム内に4名以上いること

TOクルー2名以上いること

(eラーニング)

・インテグリティ

TEAM埼玉で「暴力暴言根絶」しバスケットボールの価値を高めましょう。

DC (DEVELOPMENT CENTER)



内 容

DCの目的

DC活動について

トライアウトについて
選考基準含む

U12—U16までの系統性



DCの目的

- ①質の高い練習環境を提供
- ②個の育成
- ③将来性のある選手発掘
- ④指導者の研鑽の場

「今」がピークの選手を発掘・育成
することが第一の目的ではない

育成センターのあるべき姿（目的および方法論）

● 育成センターが目指すべきあるべき姿

目的 : 「将来を見据えた個の育成」

方法論 :

【育成環境】

- ・選手の発掘は、将来を見据えた選考を行う。
- ・早熟の選手は、適切なプレー環境を考慮し、飛び級を検討する。

【指導内容】

- ・「将来を見据えて」将来成長するための土台となる技術・戦術・トレーニングを指導する。
- ・戦術に特化することなく、基本技術・基本戦術を理解させ、徐々に要求を高めながら指導していく。
- ・系統的で選手の発達段階に応じた指導を実施する。
- ・具体的な指導内容は、JBA習熟度別指導内容を参考にする。
- ・コーディネーショントレーニングやスポーツパフォーマンス部会が提唱しているトレーニングを実施する。

【指導者として】

- ・育成センターの指導者は、暴言暴力のない指導はもちろんのこと、指導者として模範となる姿を表現することを心掛けて活動する。
- ・実施内容は、都道府県内の指導者に周知し、指導者養成にも寄与する。

DC活動について

- ①毎月第四土曜日の午後を基本
- ②U13U14DCでは、
支部（東西南北）DC、県DCを実施
- ③U15DCでは支部DCのみ活動
※前年度のU14県DC選手はU15では支部DCに戻ります。
- ④トライアウトを行い定期的に選手の
入れ替えを実施

トライアウトについて

	支部(東西南北)DC	県DC
トライアウト 参加資格	JBA登録選手 【1次トライアウト】 誰でも可 【2次トライアウト】 1次トライアウト通過者	JBA登録選手 支部DCから推薦された選手
活動人数	35名程度	25名程度
実施回数	年2回	年2回
内容	1on1,2on2,3on3 フィジカルテスト スクリメージ	1on1,2on2,3on3 フィジカルテスト スクリメージ

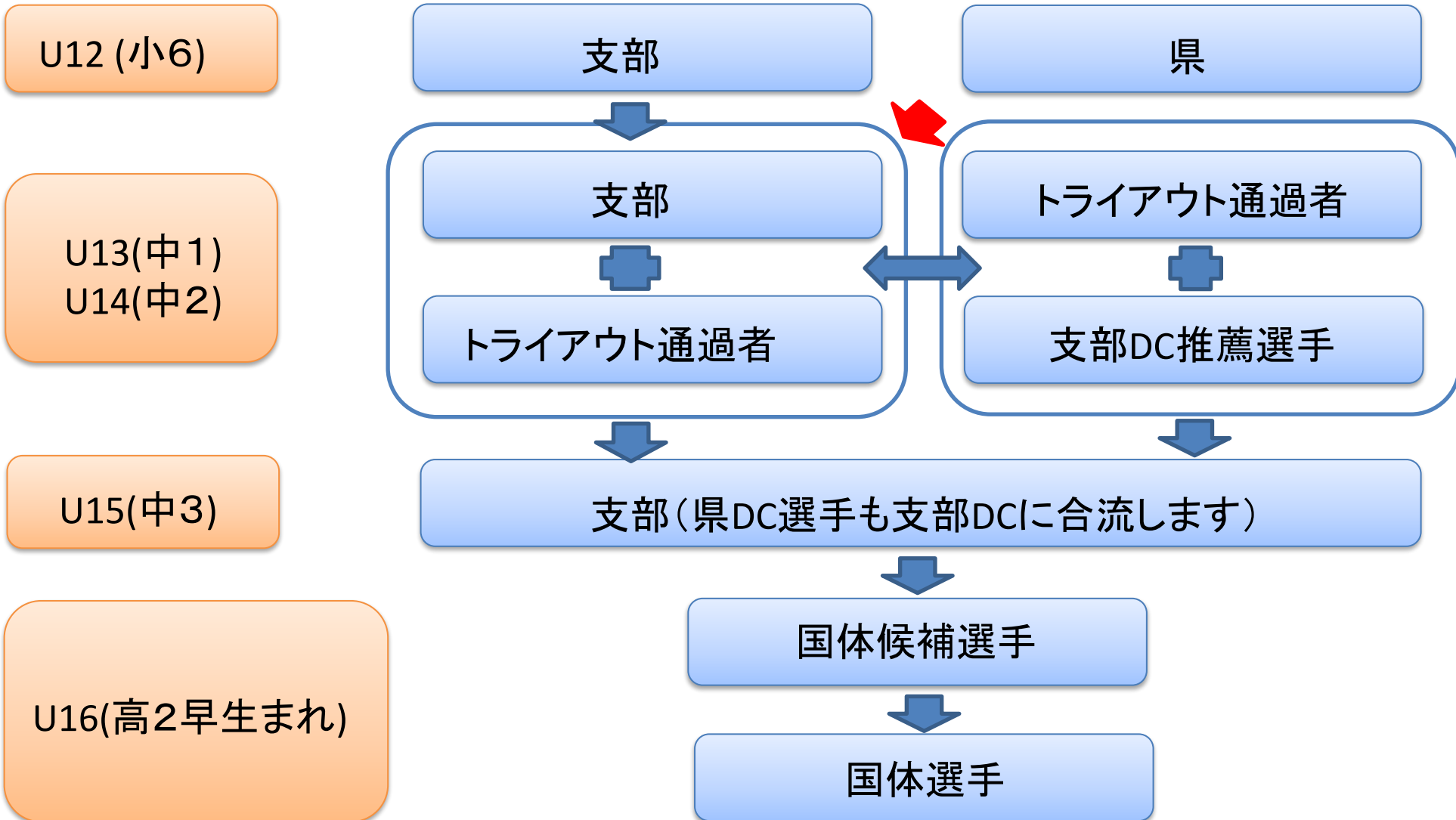
申込みは Googleフォームにて

トライアウト選考基準

- 1 意欲・意思
- 2 プレースタイル
 - ・イニシアティブをとれる・コンタクトを好む・1対1で戦うことを好むなど
- 3 ファンダメンタルズ
 - ①基礎技術の実践力(フットワーク、パッシング、ドリブル、シューティング)
 - ②オフェンス、ディフェンスのスペーシングの理解
 - ③状況判断力
- 4 運動能力(高いレベルの早期開発能力)
 - ①クイックネス能力
 - ②ジャンプ力(速筋タイプ)
 - ③柔軟性
- 5 その他
 - ①身長、指高、指極
 - ②予測身長
 - ③コーディネーション能力
 - ④経験年数
 - ⑤特殊な能力(シュート力、リバウンド力、リーダーシップ、創造性など)

「今」の評価だけでなく、「将来」を想定した評価で選考

U12-U16までの系統性



U12-U16までの系統性

- トライアウトで将来性のある選手を発掘
- 早生まれ(1~3月生まれ)の選手を長期で育成
- 成熟過程の理解(PHVやLTADの理解)

※ http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/Vol3_B4L_2019125.pdf

ご紹介

JBA学びの情報コンテンツ

1. 習熟度別指導内容

習熟度別指導内容

男女プレイヤーが16歳頃までに習得すべき、基本技術からプレー戦術の基礎までの内容が掲載されています。指導者の方には是非とも知って頂きたい考え方・内容となります。

① FOOTWORK・BODY CONTROL

② SHOOT

③ DRIBBLE

④ PASS

⑤ 1on1 OFFENSE

⑥ 1on1 DEFENSE

⑦ INSIDE

⑧ REBOUND

⑨ PICK & ROLL OFFENSE

⑩ PICK & ROLL DEFENSE

⑪ TEAM OFFENSE

⑫ TEAM DEFENSE

⑬ TRANSITION OFFENSE

⑭ TRANSITION DEFENSE

LTAD (Long Term Athlete Development・選手を育てる考え方)

LTAD (Long Term Athlete Development・選手を育てる考え方) はバスケットボールのみならずスポーツ競技者を育成するモデルとして世界で用いられている考え方です。LTAD の理論をバスケットボールに応用し、日本をバスケットボールで元気にするための選手育成指針「Basketball for Life (B4L)」としてまとめています。

The thumbnails represent the following chapters:

- 1. Basketball for Lifeの全体概要 (Overall Overview)
- 2. 育成コーチング・フィロソフィー (Coaching Philosophy)
- 3. 育成コーチングにおける留意事項 (Precautions in Coaching)
- 4. 練習方法論 (Practice Methodology)
- 5. 育成世代における環境 (Environment in the Development Generation)
- 6. 育成実績の評価 (Evaluation of Development Results)

昨年度からの変更点

●参加費の値上げ

- ▶前期、後期で徴収予定
- ▶全てTEAM JBAでの振込

●U13/U14トライアウト実施時期変更

- ▶5月と10月に実施予定

●U16トライアウトの実施

- ▶7月または8月に支部ごとに実施予定
- ※詳細は後ほどアナウンス

DCスタッフを公募

- ▶詳細はTEAM JBAメールを確認
- ▶希望者はGoogleフォームにて申込み

公益財団法人日本バスケットボール協会

JBA公式サイト U15カテゴリー

埼玉県バスケットボール協会 (japanbasketball.jp)

U15カテゴリー一部会 問合せ先 <https://lin.ee/CgPJoXP>

最後に

インテグリティ

バスケットファミリーを守りましょう

子供達の未来が想像よりも

素敵なものになるように

我々埼玉のバスケットファミリーが

全員で力を合わせていきましょう

